第4回部会資料No. 4

作成　防災部会
防災士　藤井一男

地震発生時の避難行動（案）

地震などの突発型災害は、防災行動を実施することは困難なため、自分の身を守ることを最優先に、予め家族で発生時の避難行動を確認

地震（災害）発生

屋内での身の安全の確保	屋外での安全確保
3つの安全確保行動:「先ず低く」・「頭を守り」・「動かない」	公園・空地に避難

揺れがおさまったら、身の回りの状況確認
①火の元の確認　②家族の安全確認　③靴を履く　④出口の確保

ガスの元栓閉める・電気のブレーカーを落とす

情報収集・隣近所の状況確認
①防災無線を聞く　②メールみる、TV・ラジオをつける　③隣近所の安否・負傷者確認

非常持出品の持参

要支援者の避難誘導

役員参集

地区指定の一時避難場所等に避難
（集会所、公会堂、広場等、津波は高台）

災害対策本部の設置
地区:集会所等　地域:公民館

地域で協力して減災活動
①初期消火　②安否確認　③要支援者の避難支援
④救出・救助　⑤救護　⑥避難者の受入準備、避難所開設

余震に注意

自宅が消失、全半壊

笠岡市指定避難所に避難

避難生活

自宅は無事・余震でも大丈夫か確認

自宅で避難生活